

まちづくり交付金 モニタリングシート  
〇〇地区

平成〇年〇月

〇〇県〇〇市

※記入にあたっての留意事項(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

モニタリング様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリングの内容・記載要領は、以下のとおりです。

また、記入項目の詳細や記入例については「モニタリングシート作成の手引き」を参照してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認します	中間年度の任意の時期	

2. 数値及び文章は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。

3. モニタリングを複数回行う場合には、それぞれのモニタリングごとに本様式を用いてください。

### 様式3 モニタリング結果のまとめ

都道府県名	〇〇県	市町村名	△△市	地区名	〇〇町××地区
計画期間	平成〇年度～平成〇年度	まちづくり交付金交付期間	平成〇年度～平成〇年度		
モニタリング実施時期	平成〇年〇月				

1) 事業の進捗状況	著しい遅れのある事業の有無		同左事業名				
		なし あり					
2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度（モニタリング時）	達成見込みの有無		達成見込みなしの場合の対応案
					あり	なし	
	指標1						
	指標2						
	指標3						
	指標4						
3) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		単位	従前値	数値（モニタリング時）		効果発現の要因
							総合所見
	その他の数値指標1				基準年度		
	その他の数値指標2						
その他の数値指標3							
4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況							
5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等	
	住民参加プロセス		予定どおり実施できた				
			予定していなかったが実施した				
			予定したがモニタリング時点では実施していない				
	持続的なまちづくり		予定どおり構築できた				
			予定していなかったが構築した				
予定したがモニタリング時点では構築していない							
6) モニタリングの所見	順調						
	計画・事業の進め方の改善が必要	コメント（改善点の概要）					

# まちづくり交付金 モニタリングシート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(進捗状況)
- 添付様式2 都市再生整備計画変更の理由・指標への影響
- 添付様式3-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式3-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測
- 添付様式3-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式4-① 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式4-② 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式5-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式5-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式5-③ 数値目標を達成できていない指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式6-① 総合所見
- 添付様式6-② 今後の事業の改善点

## (5) 住民への公表

- 添付様式7 住民への公表

## (6) 有識者からの意見聴取

- 添付様式8 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標					
B. 目標を定量化する指標					
C. 目標値					
D. その他( )					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(進捗状況)

(単位:百万円)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要	変更された 目標との対応	実績(モニタリング時)		完成見込みの有無	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			事業費	進捗率(%)	あり	なし
道路											
公園											
河川											
下水道											
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設											
高質空間形成施設											
高次都市施設											
既存建造物活用事業											
都市再生交通拠点整備事業											
土地区画整理事業(都市再生)											
住宅市街地総合整備事業											

注:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(単位:百万円)



添付様式2 都市再生整備計画変更の理由・指標への影響（特に大きな変更があった場合について）

事業	箇所名	変更した理由、目標・数値指標への影響

注：このシートは、計画が大きく変更となった路線、施設について記載すること。



添付様式3-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (モニタリング 時) (エ)	達成度	達成見込み の有無		達成見込みがない場合の対応案 (注:添付様式5を踏まえて記述すること)
			基準年 度		基準年 度		目標 年度				あり	なし	
指標1													
指標2													
指標3													
指標4													
指標5													

※(参考)計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値のことをいう。

添付様式3-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値 (モニタリング時) (ウ)	効果とみなし得る理由
			基準年 度		基準年 度			
その他の 数値指標1								
その他の 数値指標2								
その他の 数値指標3								

※(参考)計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値のことをいう。

添付様式3-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・本事業の実施に伴い、行政や住民のまちづくりに対する意欲が大きくに向上した。

(2)実施過程の評価（都市再生整備計画における記載有無に関わらず、実施した場合は必須）

添付様式4-① 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した予定内容	実施状況		実施結果	今後の対応方針等
		予定どおり実施できた		
		予定していなかったが実施した		
		予定したがモニタリング時点では実施していない		

添付様式4-② 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した予定内容	実施状況		実施結果		今後の対応方針等
			①構築のための取組内容	②まちづくり組織名：組織の概要	
		予定どおり構築できた			
		予定していなかったが構築した			
		予定予定したがモニタリング時点では構築していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式5-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	構成員	実施時期	担当部署

添付様式5-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別									
指 標 名									
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業									
提案事業									
関連事業									

今後の活用				
-------	--	--	--	--

注：都市再生整備計画で実施予定とした各事業を、事業名・箇所名の欄に記載してください。

添付様式5-③ 数値目標を達成できていない指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別													
指標名													
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													
改善の方針 (記入は必須)													

注: 都市再生整備計画で実施予定とした各事業を、事業名・箇所名の欄に記載してください。

#### (4) モニタリングの所見

##### 添付様式 6-① 総合所見

総合所見	順調	コメント	
	計画・事業の進め方の改善が必要		

##### 添付様式 6-② 今後の事業の改善点

項目	具体項目	内容
事業の進め方の工夫		
都市再生整備計画の変更		
数値目標の適正化		

### (5) モニタリング原案の公表

#### 添付様式7 モニタリング原案の公表

公表時期	公表方法

住民の意見	
-------	--



## (6) 有識者からの意見聴取

### 添付様式8 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	〇〇県	市町村名	△△市	地区名	△△地区	面積	25 ha
計画期間	平成××年度～平成××年度			交付期間	平成××年度～平成××年度		

目標

大目標：歴史的たたずまいを継承する次世代型まちづくり

- 目標1：交流人口拡大による地域振興－「歓交地づくり」
- 目標2：定住人口拡大による街なか再生－「徒歩圏で生活が完結」
- 目標3：歴史的資源の保全活用による地元意識の復権－「誇りが持てる都市景観の形成」

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

△△市は、古くは城下町として栄え、海運の隆盛とともに商家町として栄えた。近年は、郊外部における宅地開発の進行とともに地盤沈下が著しく、危機感を持った若手商人を中心にまちづくりの機運が高まっている。特に、歴史的建造物である■■館を市民サロンに改装し、交流人口の拡大による地域振興を図ろうとしている。

課題

公共交通機関のネットワークが脆弱なことから、車による来街者の急増、交通渋滞。まちづくりの機運が高まっているものの、街の推進役不在に伴うまちづくり活動の停滞。駅前空間にまだら状に広がる低未利用地。

将来ビジョン(中長期)

第5次△△市総合計画：本市の将来像を「地域の資源が開花するまち△△」に定め、地域資源の掘り起こしを図ることとしている。都市計画マスタープラン：広域交流拠点にふさわしい都市機能の強化、連携、地域資源を活用した都市景観づくりを進めることとしている。  
中心市街地活性化基本計画：歴史と生活文化を彩る彩食健美の都市型生活を提供する地域に位置づけられている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
a 観光入込客数	人/年	□□地区の観光入込客数	交流人口拡大度合いを計測する指標	55,000	H16	66,000	H22
b 居住人口	人	□□地区内人口	定住人口拡大度合いを計測する指標	800	H16	1,000	H22
c ■■館来館者数	人/年	■■館への来館者数	交流人口拡大度合いを計測する指標 地元意識の高まりを確認する指標	315	H16	500	H22
d 地域コミュニティ形成	団体数等	まちづくり団体、地域活動団体数	地域コミュニティ形成度を確認する指標	1	H16	3	H22
e							

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>・整備方針1 「〇〇地域における交通利便性の強化」</b> 駅前機能の強化、アクセス性の強化として、〇〇線・駅前広場を整備する。</p>	<p>土地区画整理事業【都市再生・基幹事業】 高次都市施設(自由通路・地下道)【基幹事業】 道路事業(〇〇交差点改良)【基幹事業】</p>
<p><b>・整備方針2 「安全・安心、歩いて暮らせるまちづくり」</b> 駅に向かう主要区画道路は歩行者の安全性を確保するため8m以上の復員を確保する。 1次避難地、交流機能を確保するため、2箇所の公園を確保する。</p>	<p>土地区画整理事業(主要な区画道路・公園整備)【都市再生・基幹事業】</p>
<p><b>・整備方針3 「地域資源を活用した景観づくり」</b> 歴史資源を結ぶ散策路の計画やわかりやすいサイン計画を市民参加で行う。 〇〇線は電線類の地中化を図り、沿道のファサードを整えることで個性ある都市景観づくりを進める。 市で保有している■■■館をNPO■■■館保存の会に管理運営実験を行い、民間活動の活性化を図る。</p>	<p>歴史、風土、水ネットワーク事業【提案事業】 □□地区景観形成ワークショップ【提案事業】 土地区画整理事業【都市再生・基幹事業】 地区計画【関連事業】 ■■■館改修工事まちづくり活動推進事業【提案事業】</p>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民等によるまちづくり活動の展開 〇〇線沿道のファサードを整えるために、市民主体の景観形成委員会を組織し、景観管理、形成団体への昇格を目指す</li> <li>●交付期間中の計画の管理 交付期間中においては、各種事業を円滑に進め、目標達成に向けた確実な効果をあげるため、地元まちづくり協議会やNPO、民間段短との連携協に働配慮しながらまちづくりに取り組む。また、随時、市民には情報を公開する。</li> <li>●交付期間中に事業の中間検査(モニタリング)を実施し、事業の進捗および目標達成状況の確認・評価を実施する。</li> </ul>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	3,975	交付限度額	1,590	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		□□地先	△△市	直	300m	H20	H21	H20	H21	270	270	270	0	270
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-	△△市	直	-	H19	H21	H19	H21	100	100	100	0	100
高質空間形成施設		-			-									
高次都市施設		-	△△市	直	-	H18	H21	H18	H21	1,500	1,500	1,500	0	1,500
既存建築物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地地区画整理事業(都市再生)		□□土地地区画整理地区	□□土地地区画整理組合	間	15	H15	H22	H17	H21	2,500	2,000	2,000	0	2,000
市街地再開発事業														
住宅街整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
合計										4,370	3,870	3,870	0	3,870

…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業	歴史、風土、水ネットワーク事業	□□地区	△△市	直	31.5ha	H21	H21	H20	H20	100	100	100	0	100
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業	□□地区景観形成ワークショップ		△△市	直		H18	H20	H18	H20	5	5	5	0	5
合計										105	105	105	0	105

…B

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		
□□土地地区画整理事業	□□土地地区画整理地区	□□土地地区画整理組合	国土交通省	15ha					○	H15	H22	7,000
■館改修工事	■館	△△市	文化庁	660㎡		○				H19	H22	170
地区計画	□□土地地区画整理地区	△△市	国土交通省	15ha			○			H19	H22	-
合計												7,170

合計(A+B) 3,975